

2021/11/27

「新型コロナウイルス感染症対応から学ぶ看護マネジメント」研修（第3回）

新型コロナウイルス感染症における 応援看護職員へのアンケート【速報】

厚生労働省医政局看護課
看護体制支援調整官 寺阪比呂子

ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

新型コロナウイルス感染症における 応援看護職員へのアンケート【速報】

目的

新型コロナウイルス感染症対応において、限られた看護人材を効果的に受け入れることが可能となるよう、外部機関からの応援を受け入れた医療機関等において、応援を行った看護職員の業務実態等を明らかにする。

アンケート概要

- ◆ 対象：令和2年2月から令和3年7月までに、新型コロナウイルス感染症対応で他医療機関等へ応援を行った看護職員（国立病院機構、地域医療機能推進機構、労働者健康安全機構、恩賜財団済生会、日本赤十字社、大学病院等）
- ◆ 方法：web調査
- ◆ 項目：実施した業務内容、応援にあたり準備した又は準備しておくよかった事項
オリエンテーション内容、応援にあたり困った事項、引き継ぎ方法 等

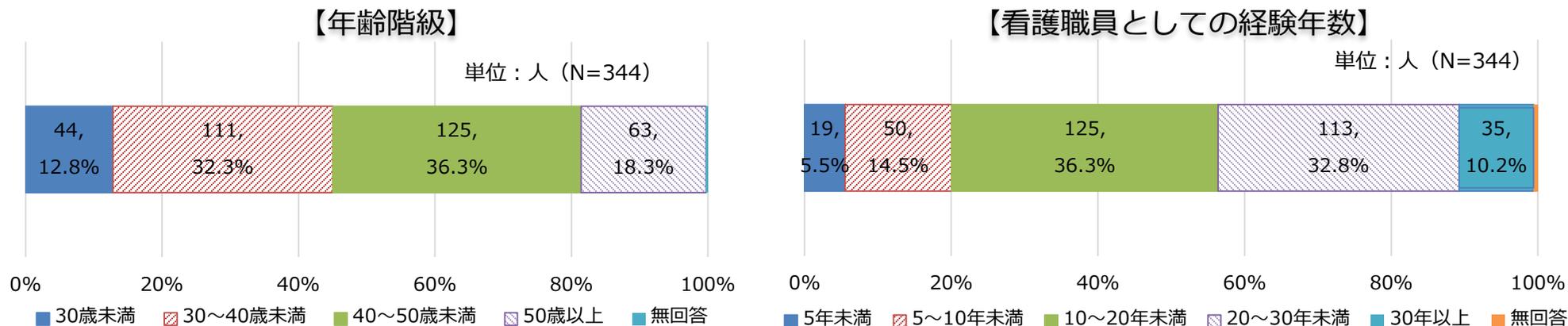
回答状況

回答のあった344人を集計

※アンケート時点で応援を複数回行ったことのある回答者については、最大4回分の応援状況について回答いただいたが、本速報ではすべて1回目の状況（N=344）についてのみ集計した。

応援業務を行った看護師の年齢、経験年数、所属医療機関

- 回答者の年齢は、40歳代が最も多く、次いで30歳代、50歳代であった。
- 回答者の看護職員としての経験年数は、10～20年が最も多く、次いで20～30年、5～10年あった。



- 回答者の現在の所属医療機関は、大学附属病院が最も多く、次いで国立病院機構であった。

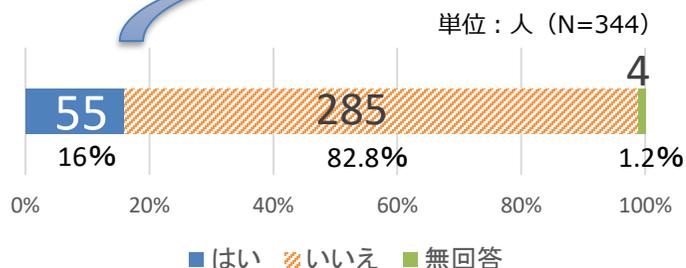
【所属医療機関】

	大学附属病院	国立病院機構	恩賜財団 済生会	日本 赤十字社	地域医療機 能推進機構	労働者健康 安全機構	その他	無回答
人数	189	60	30	13	11	9	19	13
%	54.9%	17.4%	8.7%	3.8%	3.2%	2.6%	5.5%	3.8%

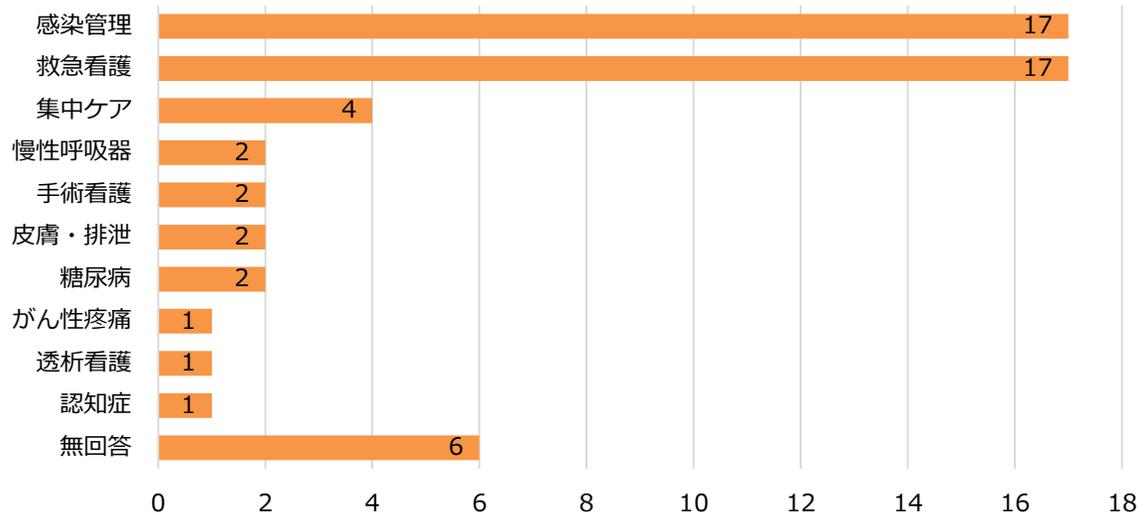
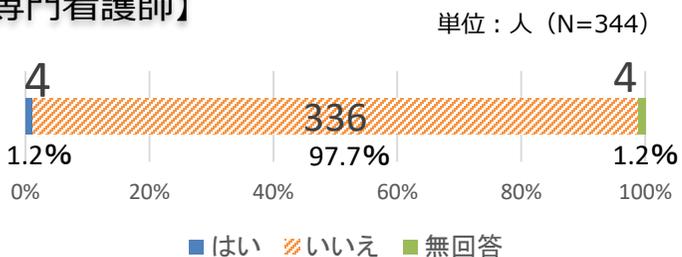
応援業務を行った看護師の状況

- 回答者のうち認定看護師は55名（16%）であり、「感染管理」と「救急看護」が最も多かった。
- 回答者のうち専門看護師は4名（1%）、看護管理者は101名（29%）であった。

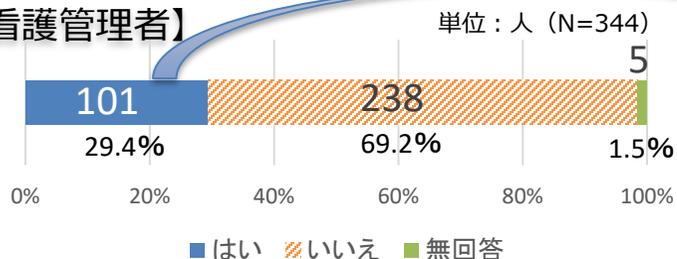
【認定看護師】



【専門看護師】



【看護管理者】

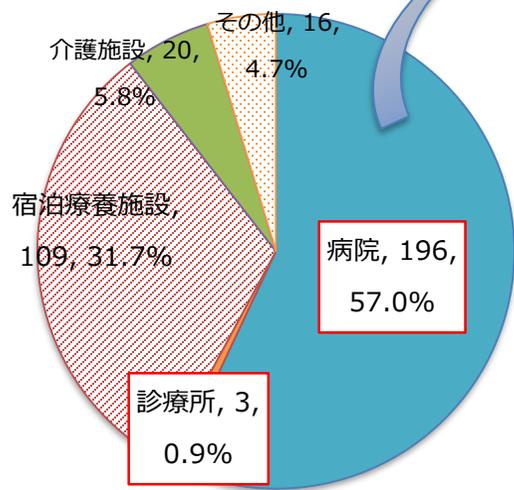


うち認定看護管理者
11名

応援先の施設・病棟種別

- 応援先として最も多かったのは病院で、次いで宿泊療養施設であった。
- 病院又は診療所で応援した者の、応援先の病棟種別は「コロナ重症患者のいるICU、HCU等」が多かった。

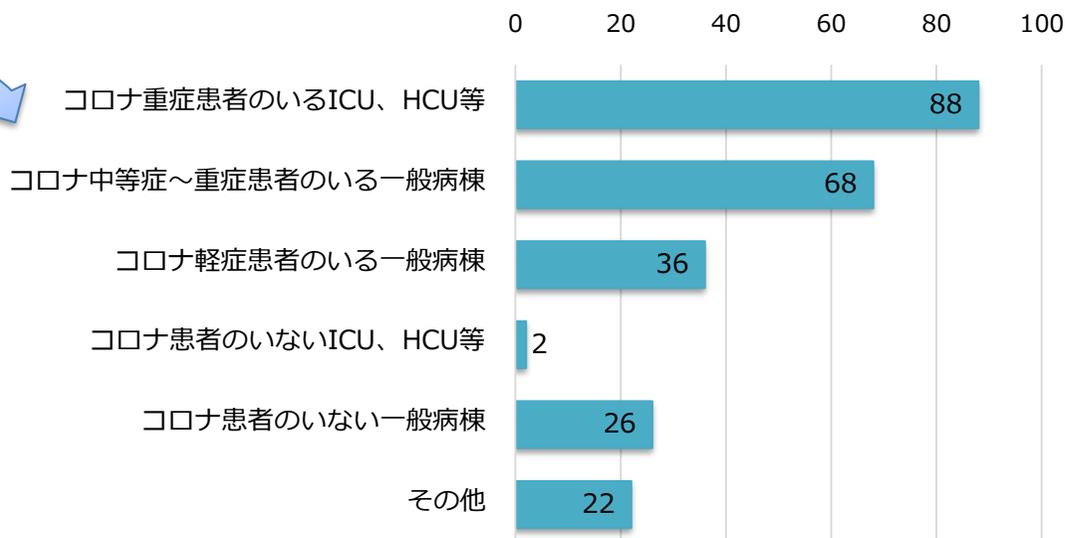
【応援先の施設種別】



単位：人 (N=344)

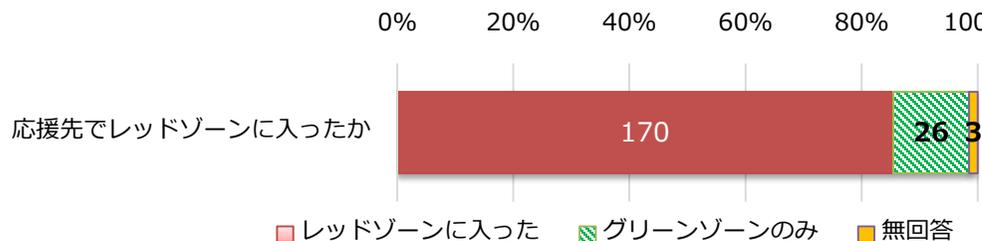
【応援先病院・診療所の病棟種別】

単位：人 (N=199、複数回答)



【応援先病院・診療所での対応状況】

単位：人 (N=199)



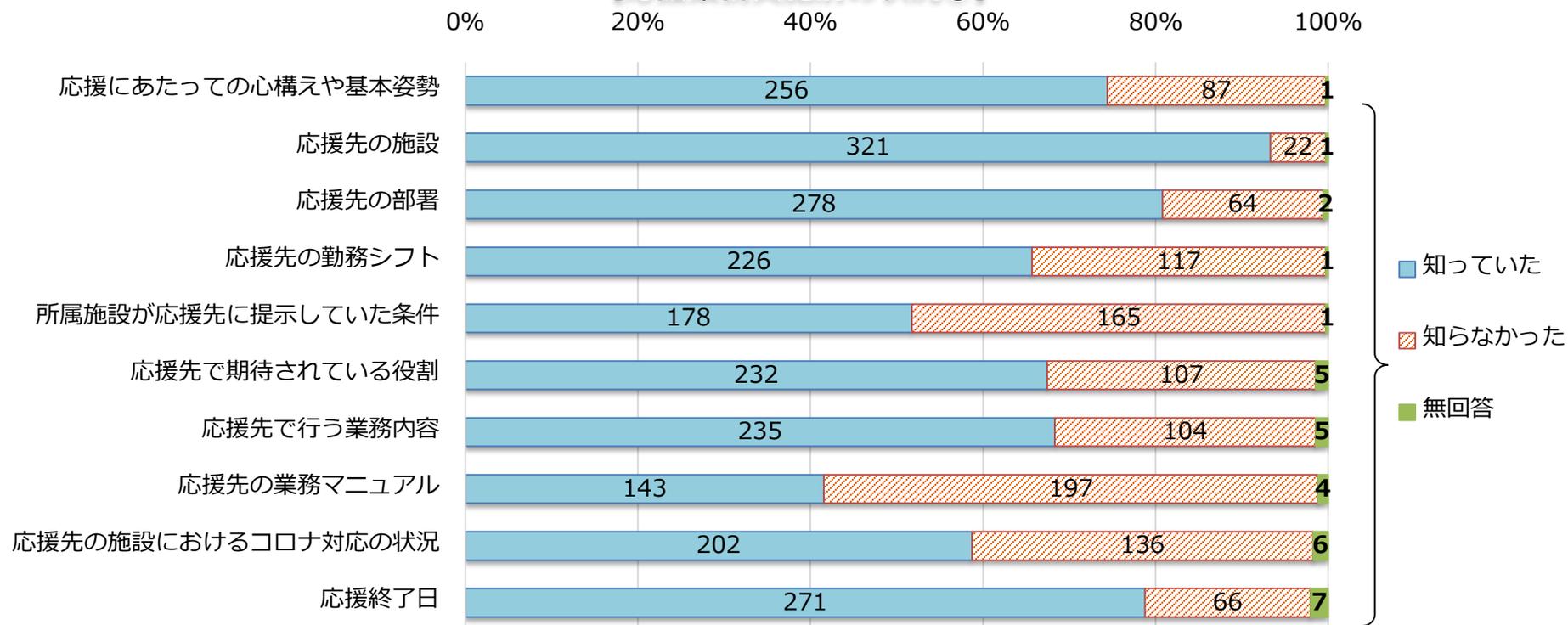
※「応援先の病棟種別」と「応援先での対応状況」は、応援先を「病院」又は「診療所」と回答した者 (N=199) のみ回答

応援業務実施前の状況

- 応援業務実施前の状況については、応援に行く前に、応援先の施設・部署や業務内容等を概ね把握していたが、応援先での新型コロナウイルス感染症対応の状況や業務内容等について知られずに応援に行った者も一定程度いた。

【応援業務実施前の状況①】

単位：人（N=344）



【応援業務実施前の状況②】

単位：人（N=344）



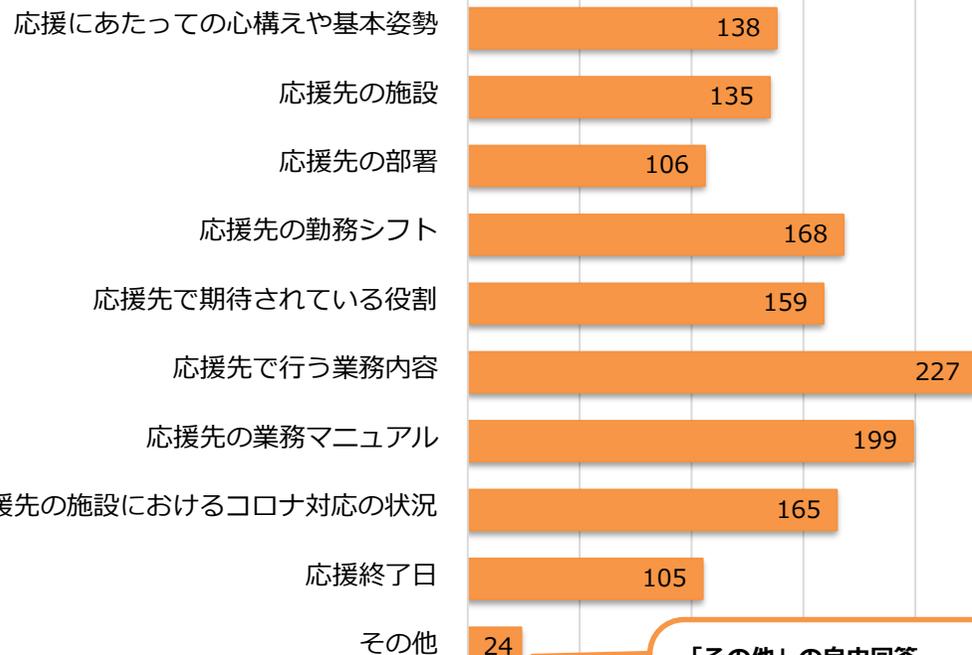
応援前に知らされていたらよかった・準備してくれていたらよかったこと

- 【応援前に知らされていたらよかったこと】として多かったのは、「業務内容」や「業務マニュアル」であった。
- 【準備してくれていたらよかったこと】として多かったのは、「宿泊施設の確保」や「応援前の勤務シフト調整」であった。

【応援前に知らされていてよかった／知らされていたらよかったこと】

単位：人（N=344、複数回答）

0 50 100 150 200 250



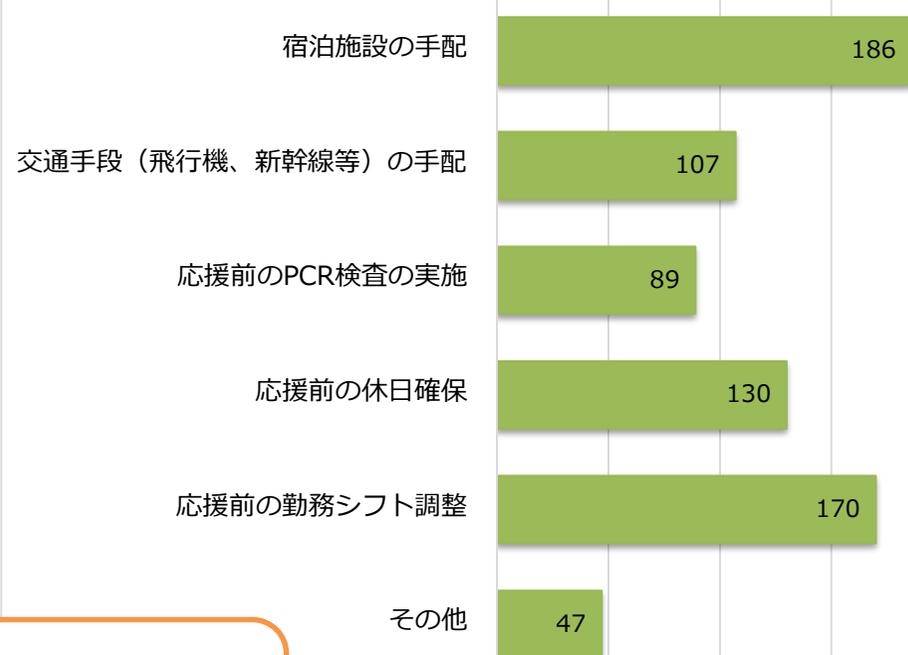
【その他】の自由回答

- ・ 応援中の宿泊場所、周辺施設、持参品など
- ・ 白衣やナースシューズなどの準備物品について
- ・ 休憩時間の過ごし方、休憩時の買い出し等ができるか
- ・ カルテや施設内で使用している物品の種類 等

【所属医療機関や応援先施設が準備してくれていた／準備してくれていたらよかったこと】

単位：人（N=344、複数回答）

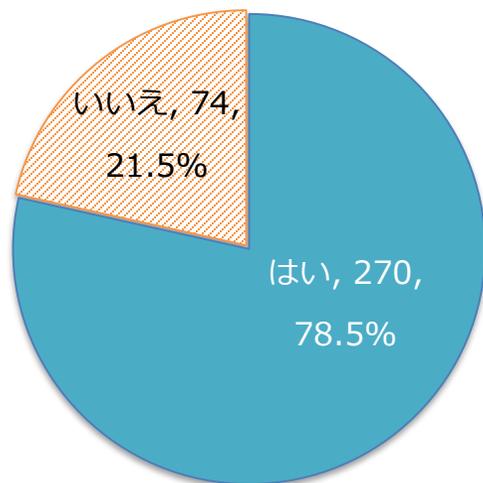
0 50 100 150 200



応援先での引き継ぎの状況

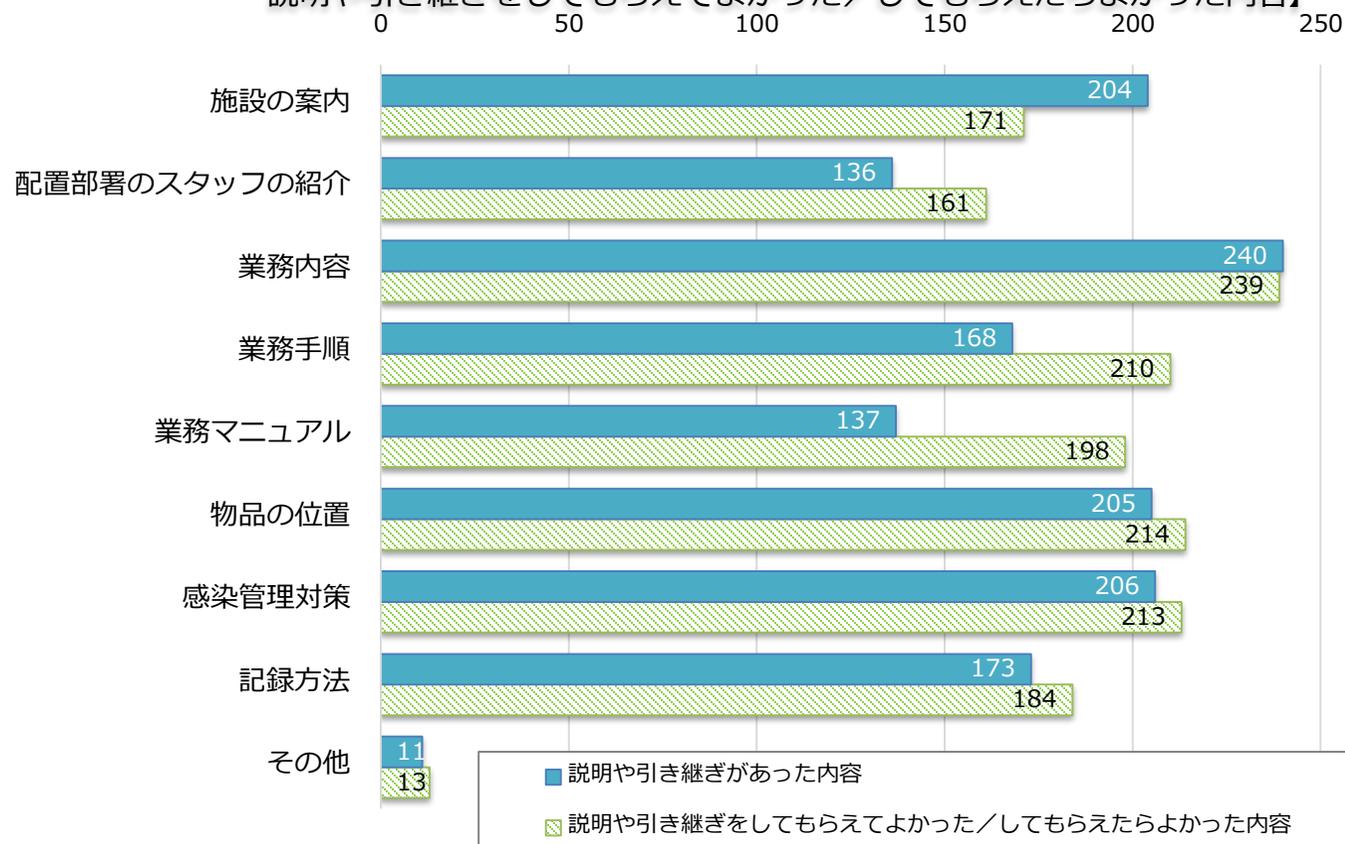
- 【応援先で説明や引き継ぎがあった】のは78.5%であり、【説明や引き継ぎがあった内容・説明や引き継ぎをしてもえたらよかった内容】は「業務内容」「物品の位置」「感染管理対策」が多かった。
- 「業務手順」や「業務マニュアル」については、【説明や引き継ぎをしてもらえてよかった/してもらえたらよかった】の回答に対して【引き継ぎがあった内容】が少なかった。

【応援先で説明や引き継ぎはあったか】



単位：人 (N=344)

【応援先で説明や引き継ぎがあった内容、説明や引き継ぎをしてもらえてよかった/してもらえたらよかった内容】



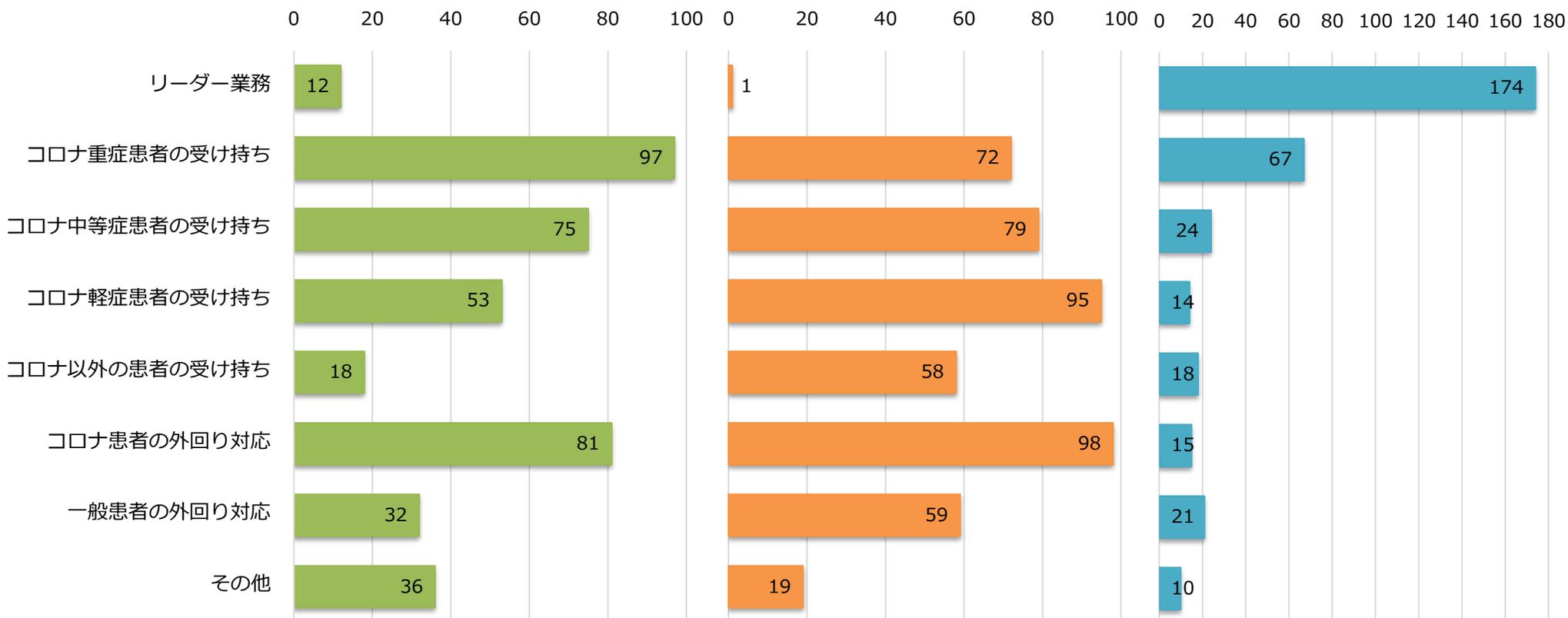
※「説明や引き継ぎがあった内容」は、「説明や引き継ぎがあった」と回答した者（270人）のみが回答

※「説明や引き継ぎをしてもらえてよかった/してもらえたらよかった内容」は、すべての回答者（344人）が回答

応援先での実施業務（病院・診療所）

- 【応援先で実施した業務（病院・診療所）】は、「コロナ重症患者の受け持ち」や「コロナ患者の外回り対応」が多かった。
- 【応援先の業務として実施しやすいもの】は、「コロナ軽症患者の受け持ち」や「コロナ患者の外回り対応」が多かった。

【応援先で実施した業務（病院・診療所）】 【応援先の業務として実施しやすいもの】 【応援先の業務として実施が困難なもの】



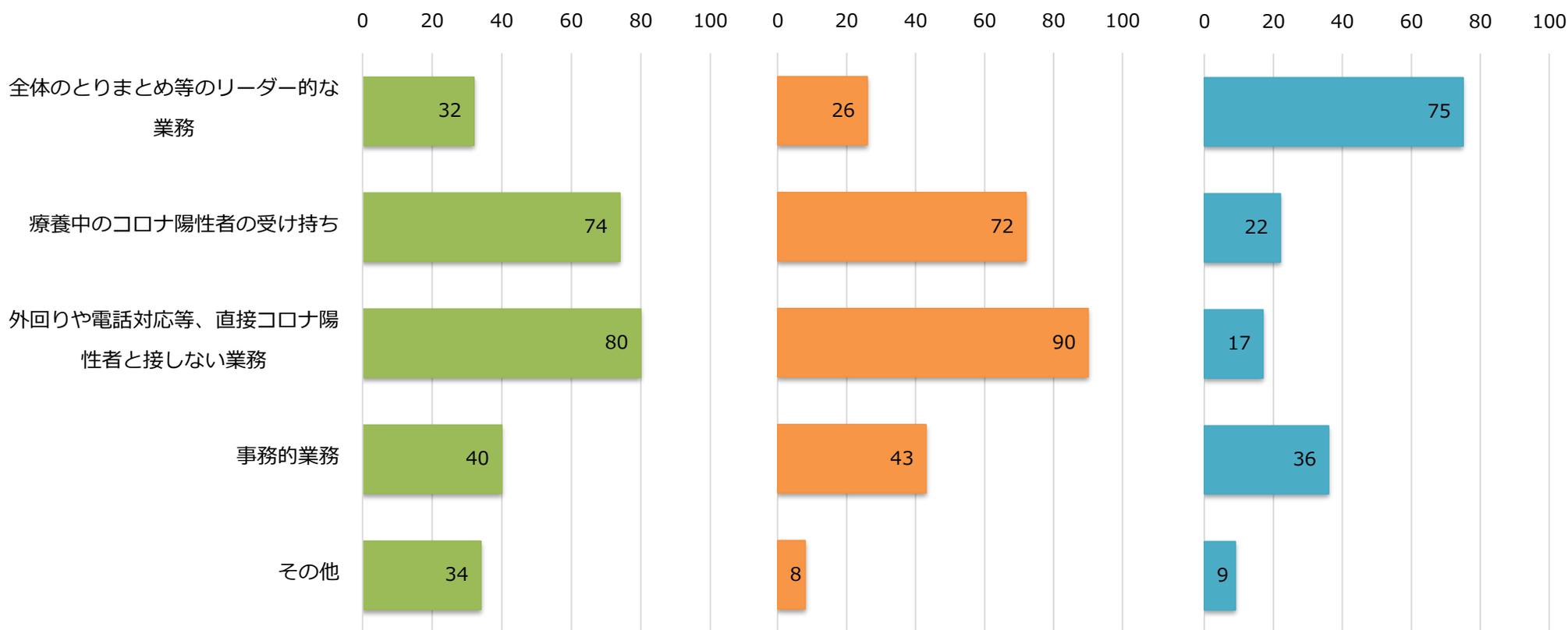
※応援先を「病院」又は「診療所」と回答した者（N=199）のみ回答

単位：人（N=199、複数回答）

応援先での実施業務（宿泊療養施設・介護施設等）

- 【応援先で実施した業務（宿泊療養施設・介護施設等）】は、「療養中のコロナ陽性者の受け持ち」や「外回りや電話対応等、直接コロナ陽性者と接しない業務」が多く、【応援先の業務として実施しやすいもの】も同様だった。

【応援先で実施した業務（宿泊療養施設・介護施設等）】 【応援先の業務として実施しやすいもの】 【応援先の業務として実施が困難なもの】



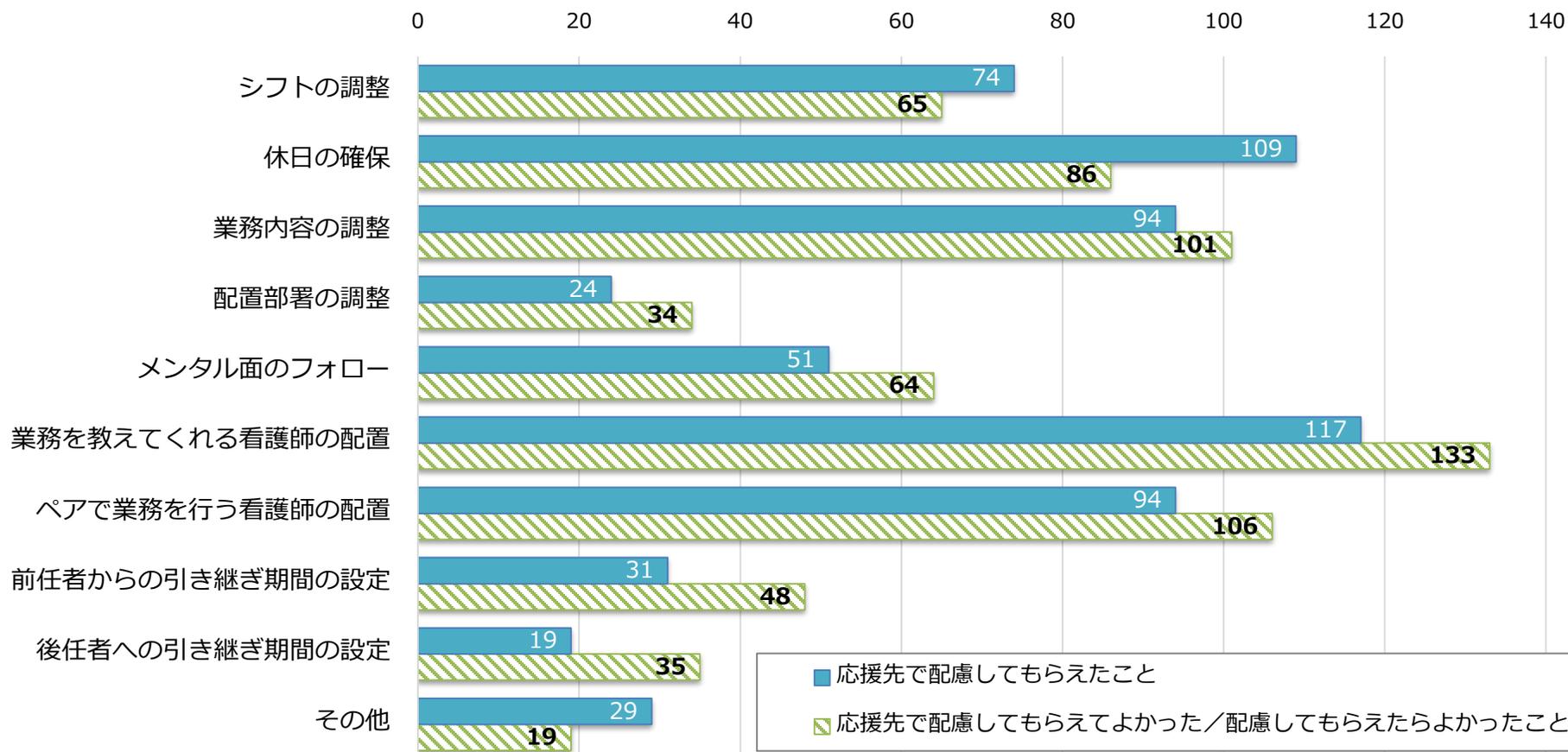
※応援先を「宿泊療養施設」「介護施設」「その他」のいずれかと回答した者（N=145）のみ回答

単位：人（N=145、複数回答）

応援先で配慮してもらえたこと・配慮してもらえたらよかったこと

- 【応援先で配慮してもらえたこと】として多かったのは、「業務を教えてくれる看護師の配置」や「休日の確保」であった。
- 【応援先で配慮してもらえたらよかったこと】として多かったのも、「業務を教えてくれる看護師の配置」であった。
- 「メンタル面のフォロー」「業務を教えてくれる看護師の配置」「ペアで業務を行う看護師の配置」「前任者からの引き継ぎ期間の設定」「後任者からの引き継ぎ期間の設定」については、【配慮してもらえたこと】より、【配慮してもらえてよかった、配慮してもらえたらよかった】が多かった。

【応援先で配慮してもらえたこと、配慮してもらえてよかった／配慮してもらえたらよかったこと】

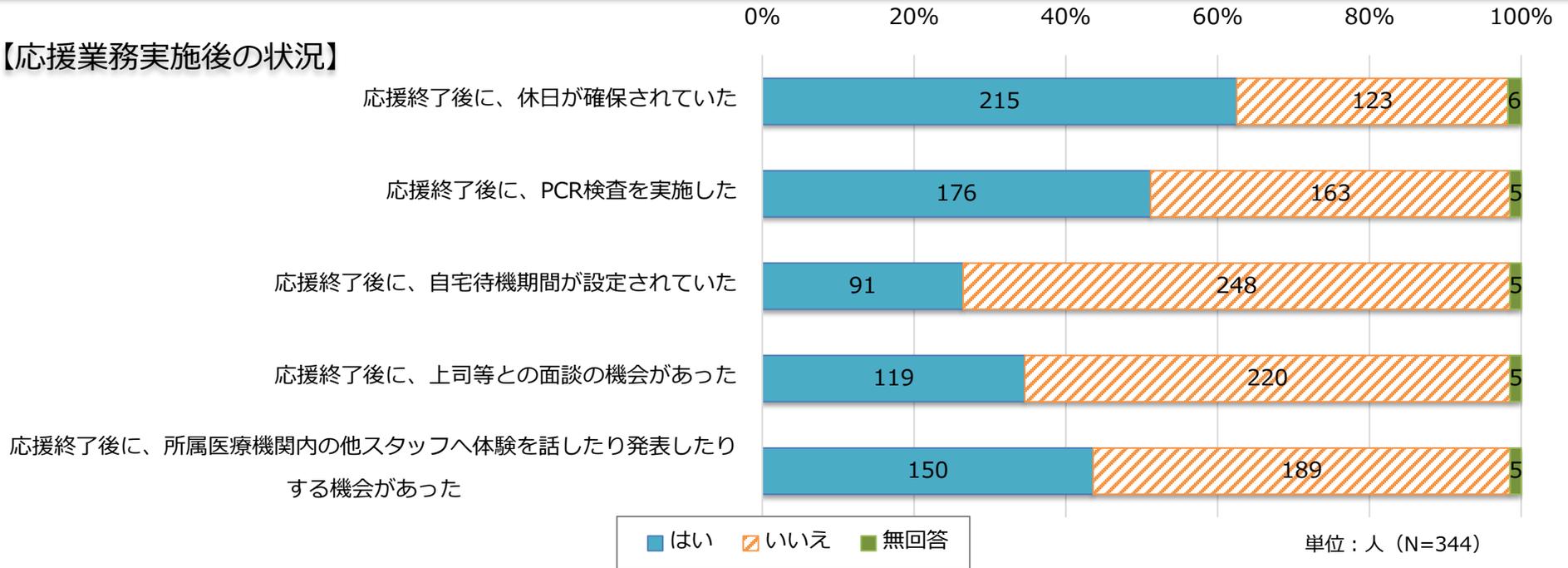


単位：人 (N=344)

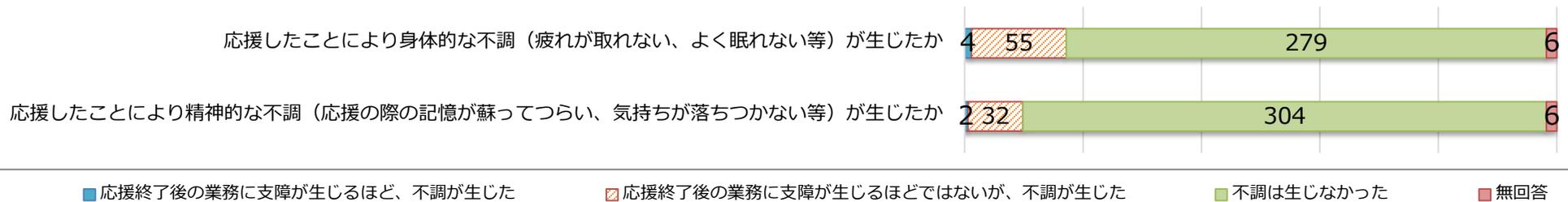
応援業務実施後の状況

■ 応援終了後の身体的・精神的な不調については、不調が生じなかった者の方が多かった。

【応援業務実施後の状況】



【応援終了後1週間以内の不調の有無】



おわりに

アンケートにご協力いただいた皆様をはじめ、
新型コロナウイルス感染症への対応を日々行ってくださっている
すべての看護職の皆様に、心から感謝申し上げます。

ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

※本アンケート結果は今後、新型コロナウイルス感染症対応における看護職員の効果的な応援体制構築のために活用する
予定です。アンケート結果についてのご質問等はお受けできないため、ご了承ください。